

## 平成29年度 名古屋市社会福祉施設職員研修事業 年間実施計画

研修体系区分	研修名	日時・場所	期間	定員	テ　ー　マ（予定）	研修のねらい	講師
高齢者・障害者福祉施設職員向け共通研修	新規採用者職員研修	平成29年6月30日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	1日	110	仕事に人権感覚をいかす チームケアの一員として求められる役割 先輩職員・同期との交流	・福祉従事者として持ち続けてほしい人権感覚を意識すること、また、新任職員の役割を理解し将来像を描くことで、職員として成長するための業務への取り組む姿勢を学ぶ。 ・福祉施設の先輩職員や同期(受講者)と、日々の業務を行うまでのアドバイスやストレス解消法などを話すことで、前向きな気持ちになって帰ってもらう。	岐阜県人権懇話会会長 藤田敬一 氏 株式会社バス・プランナー 横山淳博 氏 社会福祉法人なごや福祉施設協会
	新任職員ステップアップ研修	平成29年12月1日 10:00～16:00 名古屋市高齢者就業支援センター	1日	110	チーム力アップのためのコミュニケーションスキル	他の職員との連携して業務に取り組めるための、判断力とコミュニケーションスキルを身につけることを学び、自信のスキルアップだけではなく、チームの一員としての自覚を持つことを図る。	株式会社Woomax 松本理恵 氏
中堅職員研修	タイムマネジメント研修	平成29年6月15日 10:00～16:00 名古屋市高齢者就業支援センター	1日	110	タイムマネジメント	毎日多くの業務に追われ、時間外に仕事をまわしてしまうことも珍しくはない。そこでタイムマネジメントを学び、その重要性を理解し、限られた時間の中で出来るだけ無駄のない業務の進め方をしていくには、何を意識し、どう行動していけばよいかを理解し、実際の行動変容にまで繋げる。	株式会社日本マネジメント協会 杉山由布子 氏
	コーチング研修	平成29年7月3日 10:00～16:00 名古屋市高齢者就業支援センター	1日	110	コーチング技法～部下や後輩のやる気を引き出すために～	職場で、部下や後輩に対してどう指導すればよいか、どのような働きかけをすればよいか、悩む場面はありますか。トップダウンの指示だけでは職員の自主性を引きだすことは難しく、成長を促しきれない面もあります。 本研修では、相手の主体性を引き出すコミュニケーションの手法である「コーチング」について演習を取り入れながら実践的に学び、自施設において部下や後輩の個人の能力を最大限に伸ばせるリーダーになることを目指します。	株式会社コーチング・システムズ 取締役・国際コーチ連盟(ICF)プロフェッショナルコーチ 稻垣友仁 氏
管理者研修	労務管理研修	平成29年7月10日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	1日	60	社会福祉施設における労務管理と法律制度 ～適切な労務管理のためのケーススタディ・Q&A～	・職員の能力を十分に発揮させ、高い意欲で業務に取り組んでもらうため、職員が働きやすい良好な職場環境を整える方策について考える機会とする。 ・福祉施設の職場・職員に関する労務管理や法律制度の基本、さらに具体的な事例を基にしたケーススタディから適切な労務管理の方法について学ぶ。	一般社団法人名北労働基準協会 事務理事・事務局長 特定社会保険労務士・RSTトレーナー 市之瀬高司 氏
	人材育成研修	平成30年1月24日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	1日	60	チームリーダーを育てるキャリアデザインについて考える	福祉サービスの仕事には、組織の一員としてのメンバーシップや連携が重要であり、チームアプローチや職員連携を中心的に導くキーパーソンとなるのがチームリーダーである。本研修ではチームリーダーの役割を確認しながら、求められるキャリアデザインと管理のあり方を検討する。	Cプロジェクト(中小企業診断士事務所)代表 元岡征志 氏 日本福祉大学 福祉経営学部(通信教育) 教員 (中小企業診断士/社会福祉士)
社会福祉法人会計事務員研修	社会福祉法人会計基礎研修Ⅰ	平成29年6月5日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	1日	各80	社会福祉法人の会計事務の基礎 ～社会福祉法・社会福祉法人会計基準に則った法人運営～  Aコース:会計実務担当職員のうち初任者および初級者向け 社会福祉法人会計基準に則った会計実務～簿記の基礎～ Bコース:法人・施設の経営に携わる方(役員監事・施設長・事務長など)向け 社会福祉法改正に伴う会計事務の注意点～ ～決算書の読み方、社会福祉充実残額・計画、情報開示システムなど～	・Aコースは、会計実務担当職員のうち初任者・初級者向けに、簿記の一巡や日常処理の仕訳等、社会福祉法人の会計実務の基礎を学びます。 ・Bコースは、経営に携わる方に向けに、社会福祉法改正に伴う会計事務について、とりわけ法改正後初めての決算実務の注意点などを学びます。	Aコース:田中会計事務所 税理士 吉野縫子 氏 Bコース:田中会計事務所 税理士 吉野仁 氏
	社会福祉法人会計研修Ⅱ	平成29年10月24日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	1日	各80	社会福祉法人の会計事務の基礎と諸規程 ～社会福祉法・社会福祉法人会計基準に則った法人運営～  Aコース:会計実務担当職員のうち初任者および初級者向け 社会福祉法人会計基準に則った会計実務～注意すべき会計処理～ Bコース:法人・施設の経営に携わる方(役員監事・施設長・事務長など)向け 社会福祉法の定款、諸規程のあり方について～自法人に合った定款、諸規程～	・Aコースは、会計実務担当職員のうち初任者・初級者向けに、注意すべき会計処理や月次処理等の基礎を学びます。 ・Bコースは、経営に携わる方に向けに、自法人に合った定款、諸規程のあり方について学びます。	Aコース:田中会計事務所 税理士 吉野縫子 氏 Bコース:田中会計事務所 税理士 吉野仁 氏
	社会福祉法人予算・決算対策研修	平成29年12月13日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	1日	各80	社会福祉法人の予算・決算について Aコース:会計実務担当職員(初任者及び初級者)向け 社会福祉法人会計基準に則った予算・決算処理の実務 Bコース:法人・施設の経営に携わる方(役員監事・施設長・事務長など)向け 現場からの積み上げによる予算書の作成と財務規律の向上	・Aコースは、会計実務担当職員のうち実務担当者向けに社会福祉法人会計基準に則った予算・決算処理の実務を学びます。 ・Bコースは、経営に携わる方に向け、予算を現場からの積み上げ方式により作成する方法及びチェックリストを活用した財務規律の向上、監事の役割を中心に学びます。	Aコース:田中会計事務所 税理士 吉野縫子 氏 Bコース:田中会計事務所 税理士 吉野仁 氏
スキルアップ研修	医療知識研修(障害)	平成29年11月17日 10:00～16:00 名古屋市高齢者就業支援センター	1日	60	障害福祉施設職員に必要な医療的基礎知識	障害福祉施設において、利用者・医療機関との関わりの中で必要となる、基礎的な医療知識を学ぶ	一般財団法人名古屋市療養サービス事業団 在宅療養部 訪問看護課長 荒木裕美 氏
	医療知識研修(高齢)	平成29年9月29日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	1日	60	高齢者福祉施設職員に必要な医療的基礎知識	高齢者福祉施設において、利用者・医療機関との関わりの中で必要となる、基礎的な医療知識を学ぶ	一般財団法人名古屋市療養サービス事業団 在宅療養部 訪問看護課長 荒木裕美 氏
	口腔ケア研修	平成30年1月17日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	1日	60	福祉施設職員ための口腔ケア ～口の中の健康、病気とブラッシング方法～	・口から食べることで生活環境を維持・向上させることの大切さを再認識するとともに、施設職員としてどのような支援ができるかを考える機会とする。 ・社会福祉施設職員として必要となる、口腔疾患及び口腔ケアの基礎知識を学ぶとともに、ブラッシング方法について学ぶ。	藤田保健衛生大学七栗記念病院 歯科医師 金森大輔 氏 歯科衛生士 永田千里 氏

研修体系区分	研修名	日時・場所	期間	定員	テ　一　マ（予定）	研修のねらい	講師
高齢者・障害者福祉施設職員向け共通研修	スキルアップ研修	接遇・マナー研修 平成29年6月1日 10:00～16:00 名古屋市高齢者就業支援センター	1日	100	心を込めた応対をしよう	施設職員は利用者のみならず、家族や地域住民、行政や関係各所などさまざまな人と日々接し、業務を円滑に進めることが求められる。このためには良い人間関係を築くことが不可欠で、関係構築の第一歩に接遇・マナーがある。 本研修では、基本的な接遇・マナーを学び、心を込めた応対を身に付けることを目指します。	株式会社Woomax 松本理恵 氏
	救急救命研修Ⅰ～Ⅷ ※同一内容で8回実施	平成29年6月23日 平成29年7月24日 平成29年9月27日 平成29年10月6日 平成29年11月9日 平成29年12月15日 平成30年1月12日 平成30年2月7日 応急救手当研修センター	半日	各30	救急法について学ぶ ～“もしも”のための応急手当(普通救命講習)～	施設の利用者が安心して生活できるよう、不慮の事故などに対する緊急対応や、傷病者が発生した場合の応急手当を学ぶ。具体的なプログラムは、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の取扱方法、異物除去法や止血法といった方法に関する知識・技術について実技を通して実践的に学ぶことにより、万一の場合に適切な対応ができるよう自己資質の向上を図る。	応急救手当研修センター指導員
	ファシリテーション研修	平成29年6月26日 10:00～16:00 名古屋市高齢者就業支援センター	1日	60	ファシリテーション研修	会議では結論までに時間がかかるといったことや、発言が少ない等がよく問題となる。そこでファシリテーション研修を通して職場のミーティングを活性化するうえで求められる、「対話の場づくり」、「合意形成」「会議における効果的・効率的な運営」等の技術を含めたファシリテーション能力の向上を図る。	株式会社日本マネジメント協会 中小企業診断士 宇井克己 氏
	栄養士・調理員研修	平成29年9月5日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	1日	40	嚥下食調理の基礎技術とメニューづくり	・食欲は嚥下を誘発する重要な要因であるため、見栄えを良くし食欲をそそるようなメニューを立てるコツを学ぶ。 ・料理本来の味わいを活かしつつ、咀嚼・嚥下機能が低下した方でも食べやすくする調理方法を、調理実習を通して身につける。	(有)金谷栄養研究所所属 嚥下料理研究家(株)ツクイ 浜松大平台ディサービス・ツクイ 豊川ディサービス調理員 小野准 氏
	防災管理研修	平成29年9月14日 10:00～16:00 名古屋市医師会館	1日	80	いざという時に慌てないための備えを ～使える防災マニュアル・危機管理体制になっていますか？～	福祉施設では利用者、職員を守るために「防災管理」が重要であるとともに、災害時には地域住民の「福祉避難所」として期待されている。本研修では、防災訓練や備蓄などに関する具体的な防災マニュアルの作成や確認をし、机上の物ではなく、実践につながるような対策ができるよう見直す機会とする。	認定NPO法人 レスキューストックヤード 常務理事 浦野愛 氏
	介護技術研修Ⅰ	平成29年6月16日 10:00～16:00 日本福祉大学 中央福祉専門学校	1日	40	清潔・入浴介助研修	利用者の身体を清潔に保つことは健康維持に大変重要であり、入浴介助は介護職員にとって欠かせない技術である。しかし、羞恥心を伴う行為であるため、尊厳についても配慮しなければならない。そこで、入浴介助に必要な基礎知識と基本動作やその手順について学び、入浴介助をする側と、される側を体験することで、利用者の気持ちを理解するとともに、介助のポイントを習得する。	日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科学科長 高木直美 氏 介護福祉士科専任教員 板部美紀子 氏
	介護技術研修Ⅱ	平成29年11月24日 10:00～16:00 日本福祉大学 中央福祉専門学校	1日	40	体位変換と移乗介助の基本	介護技術の中でも、体位変換と移乗は、利用者様の生活のあらゆる場面で必要とされる技術である。それだけに、この技術をしっかりと身につけることは、利用者に日々安心・安全な暮らしを送っていただくために必須であり、同時に、介護職自身の腰痛防止など、自らの安全を確保するためにも、極めて重要である。本研修では、技術のベースとなる、体の使い方についての理論を講義で学ぶとともに、ボディメカニクスなどを用いての演習により、技術の基本を身につけることを目標とする。	日本福祉大学中央福祉専門学校 介護福祉士科学科長 高木直美 氏 介護福祉士科専任教員 板部美紀子 氏
	地域包括ケア研修	(調整中)	1日	80	地域包括ケアシステム	障害・高齢の分野にかかわらず地域包括ケアシステムの中での施設・事業所の役割及び経営について学ぶ。	(調整中)
	権利擁護研修	平成29年8月28日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	1日	100	高齢者、障がい者のための権利擁護制度 住み慣れた地域で安心して生活を送るために	判断能力が低下した方の権利を守るために成年後見制度等についての基礎的知識や関係機関とその役割などを学び、権利擁護の理解を深める。	障害者・高齢者権利擁護センター職員 等
高齢者福祉施設職員向け研修	職種別研修	生活相談員研修 平成29年8月23日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	1日	50	チームケアにおける生活相談員の役割と対人援助技術	チームケアの構築に向けて、生活相談員と施設ケアマネの業務展開の相違を探り、ソーシャルワーカーとしての生活相談員の役割を理解するとともに、対人援助技術を身につける。	兵庫県対人援助技術研究所 主宰 稲松真人 氏
	看護職員研修	平成30年2月6日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	1日	40	高齢者施設でのターミナルケア	高齢者施設での終末期ケアのかかわり方について学ぶとともに、施設における看護職員の役割や他職種との連携の必要性を考える機会とする。	介護老人保健施設星のしずく 看介護部長 理学療法士・介護アドバイザー 高口光子 氏
	介護支援専門員研修	平成29年8月24日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	1日	30	施設ケアマネジメントのあり方とチームアプローチ	施設ケアマネの役割を知り、ケアマネジメントにおいてチームアプローチすることを意識することを目指す。	兵庫県対人援助技術研究所 主宰 稲松真人 氏
	介護職員・支援員研修	平成29年10月5日 10:00～16:00 名古屋市総合社会福祉会館	1日	60	(調整中)	利用者の想いや状況に「気づく」力を養い、高齢者分野の知識と経験、情報の共有の重要性を理解して、「気づき」の力を高めることを目指す。	医療法人優和会グループ介護事業部統括マネジャー グループホーム管理者 田島利子 氏
	デイサービスセンター職員研修	平成29年6月28日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	1日	60	生活リハビリ研修	デイサービス職員として必要な、からだのしくみと生活動作の基礎的知識を身につけ、解剖学・生理学・運動学に基づいたリハビリテーションを学ぶ機会する。	松本リハビリ研究所 理学療法士 松本健史 氏

研修体系区分	研修名	日時・場所	期間	定員	テーマ(予定)	研修のねらい	講師
障害者福祉施設職員向け研修	分野別研修 強度行動障害研修	平成29年9月28日 10:00～16:00 名古屋市高齢者就業支援センター	1日	90	強度行動障害の基礎的知識と支援法	強度行動障害の特性に配慮した支援法を学ぶことで、自傷・他害行為を減らし、虐待の予防につなげる。	社会福祉法人 大府福祉会 たくと大府 施設長・サービス管理責任者 林大輔 氏
	知的障害研修	平成29年7月6日 10:00～16:00 名古屋市医師会館	1日	90	知的障害者の意思決定支援、特性を捉えた相談支援	専門職として知的障がいの特性について理解を深めるとともに当事者のニーズを把握し、それに沿った支援方法、家族の思いへの理解を深める。 また、個別支援計画への落とし込みやモニタリング等についても学ぶ。	長野県北信圏域障害者生活支援センター所長 日本相談支援専門員協会 顧問 相談支援専門員 福岡寿 氏
	発達障害研修	平成29年10月20日 10:00～16:00 名古屋市高齢者就業支援センター	1日	90	自閉症の特性と支援の組み立てに必要な行動の見方やアセスメントについて ※名古屋市知的障害者福祉施設連絡協議会、 名古屋市手をつなぐ育成会、名古屋市発達障害者支援センター、 名古屋市知的障害者更生相談所との共催	・発達障害の特性及び行動の見方や目的、アセスメントについて学ぶことで、どのような支援が必要かを判断する能力を養う。	アイズサポート 代表 伊藤久志 氏
	精神障害研修	平成29年11月7日 10:00～16:00 名古屋市医師会館	1日	90	精神障がいの特性と支援方法を考え ～日常生活場面での生活のしづらさを理解する～	障害・原因疾病当事者の方やご家族を招き、本人たちの取り巻く環境や症状、ニーズを直接感じてもらい、特性を踏まえた支援方法について学ぶ。	名古屋市精神障害者家族会連合会 当事者・家族の皆様
	障害者福祉制度研修	平成29年8月2日 10:00～16:00 名古屋市医師会館	1日	90	障害者差別解消法の理解	平成28年4月1日より施行された障害者差別解消法について、その必要性や差別取り扱い禁止と合理的配慮の考え方、事例等を学ぶ。	椎山女学園大学 人間関係学部 人間関係学科 准教授 手嶋雅史 氏
職種別研修	サービス等利用計画作成研修Ⅰ	平成29年7月31日 10:00～16:30 社会福祉研修センター	1日	50	利用者の生活全体を支援するために ～サービス等利用計画の役割を知り、作成時の必要な視点を確認する～	サービス等利用計画は、課題分析により明らかになった生活ニーズをもとに、サービスの方向性と目標を明確にすることを目的に作成され、利用者の生活全体を支援するための共通の羅針盤となる。 計画作成を通じて利用者の希望する生活や利用者が自立した日常生活を営むことができるよう、支援する上で解決すべき課題をどのようにとらえるかを考え、利用者の自己実現を支援するために社会資源およびサービスを上手に組み込むことができるスキルを身につける場とする。	愛知県相談支援専門員協会 代表理事 日本相談支援専門員協会 理事 蒲郡市社会福祉協議会 蒲郡市障がい者支援センター長 鈴木康仁 氏
	サービス等利用計画作成研修Ⅱ	平成29年12月4日 10:00～16:30 社会福祉研修センター	1日	50	(調整中)	(調整中)	愛知県相談支援専門員協会 代表理事 日本相談支援専門員協会 理事 蒲郡市社会福祉協議会 蒲郡市障がい者支援センター長 鈴木康仁 氏
	相談支援技術研修	平成29年12月11日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	1日	50	精神障がいのある方への相談支援 ～自らの面接を振り返り、アセスメント力をつける～	自らの面接場面を振り返りながら相談面接の基本技法を学ぶことで、アセスメントスキルを向上させることを目指す。	日本社会事業大学 専門職大学院 教授 古屋龍太 氏
	個別支援計画作成基礎研修 フォローアップ研修	平成29年7月12日 10:00～16:30 名古屋市総合社会福祉会館 平成29年10月19日 10:00～16:30 名古屋市高齢者就業支援センター	1日	80	利用者の『望む生活』を支援するための個別支援計画 ※基礎研修とフォローアップ研修の連続講座	基礎研修では、個別支援計画を作成するうえで必要不可欠な制度の最新情報及び今後の動向を把握するとともに、利用者の「望み」「生活」を支援するためには、サービス管理責任者としてどのような視点が必要か、身についておくべきスキルを学びます。そして、個別支援計画作成の基本的な流れや、個々の利用者に対する「ニーズの把握」、「課題の整理」、「ストレングス」などを総合的にアセスメントし、目標を設定していく「過程」の大切さを再確認していきます。 併せて、フォローアップ研修までの期間に、自らが所属する事業所において研修で学んだことを活用しながら課題を取り組み、フォローアップ研修では、課題の報告とスーパービジョンについて学ぶことで、さらなるスキルアップを目指します。	●名古屋市総合リハビリテーションセンター 自立支援部長 鈴木智敦 氏 ●サービス管理責任者研修講師 ・活動センターねーぶる 施設長 江尻覚 氏 ・森孝しぜんかん 施設長 上高信明 氏 ・NPO法人こすもす畑 理事長 高橋尚希 氏 ・株式会社パス・プランナー・ジャパン 代表取締役 横山淳博 氏
	就労支援研修	平成30年2月2日 10:00～16:00 名古屋市高齢者就業支援センター	1日	60	就労支援従事者のためのSST研修	・就労支援事業所で特に苦慮している精神障がい者への支援方法について、社会生活上で様々な困難を抱える人たちの自己対処能力を高め、自立を支援すること目標に、本研修において認知行動療法のひとつである「SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)」を学び、実践する。	同志社大学 社会福祉学部 社会福祉学科 准教授 吉田みゆき 氏
グループ ホーム世話人 等研修	グループホーム 世話人等研修	平成30年1月16日 10:00～16:00 社会福祉研修センター	1日	40	事例検討を通した利用者の理解と支援	・事例検討会を通じて、利用者が安全で安心できる地域やホームなどの環境づくりについて考えるとともに、世話人同士のネットワークをつくることを目指す。	社会福祉法人 親愛の里 所長 精神保健福祉士 青木邦子 氏